

天籟寺小スタンダード

資質・能力を培う 授業づくりの工夫

「学びの質を高める授業」づくり5つのポイント

- 1 学びの「質を高める」基盤づくり
- 2 めあての設定は「子どもと一緒に」
- 3 「問い」と「気付き」を促す発問
- 4 「考えを深める」話し合う活動と書く活動
- 5 まとめと振り返りは「子ども自らの言葉」で

※R3.3 市教委 4つのステップ取組例を参照し、学級の実態に合わせて設定

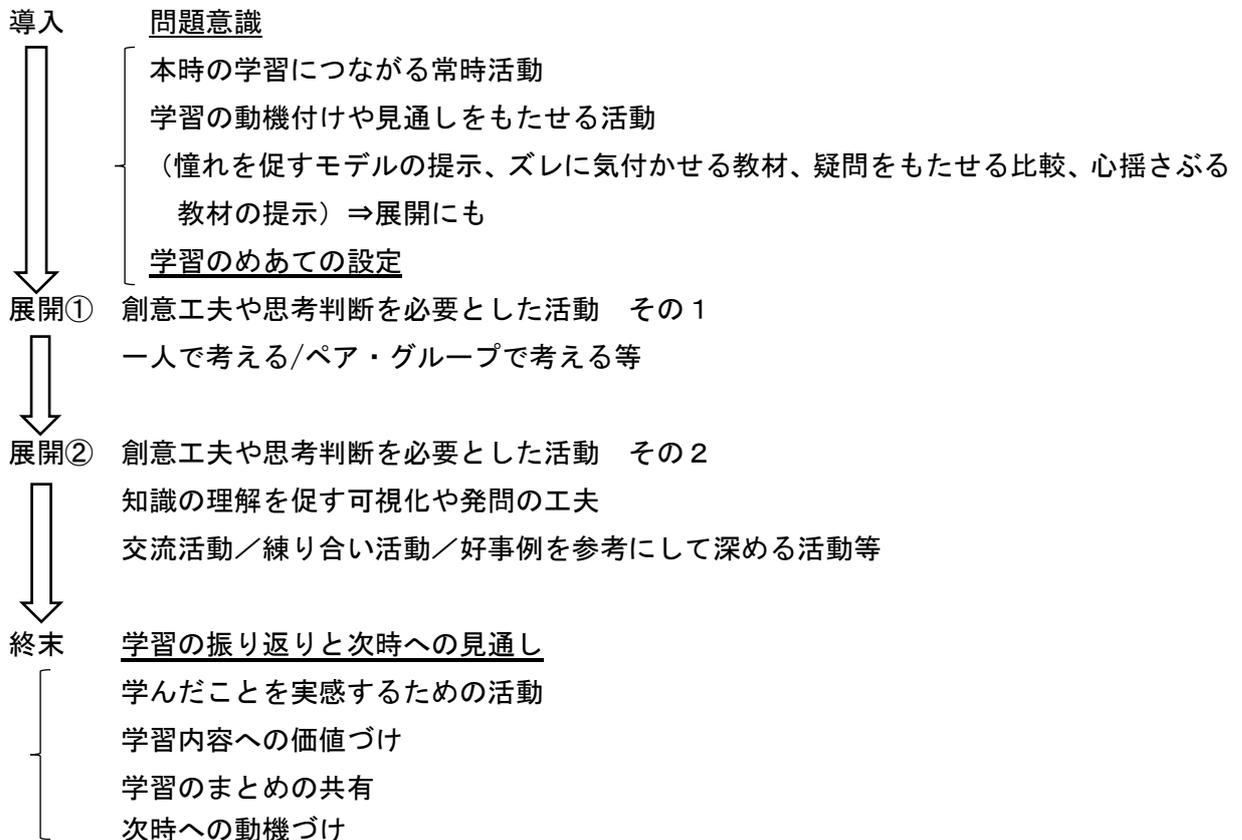
ア、単元計画 教師がまず、単元全体を見通す 単元全体の見通し

- ①全体を見通すことができるよう単元目標や単元計画を子どもと作成する。(可能な教科・単元で。)
- ②算数科等では、前時の学習や既習の学習とスパイラル式につなぐようにする。(単元ごとの子どもの思考の筋道を明確にしておく。)

イ、めあて・見通し 本時の見通し ・まとめ/振り返り

- ①なるべくめあては、子どもとつくり、子どもの言葉を採用する。
- ②本時の見通しは、めあて作成の前後に
- ③授業に山場をもたせる時間配分と中心発問計画 (計画と実際は違う◎子どもの意見から山場へ)

ウ、授業づくり



積極的生徒指導 学習規律 心の教育

※時間意識

(例) 始まりと終わりの時間厳守
時間感覚の涵養

※集中できる環境

(例) 黒板周りをシンプルにする
必要なものと不必要なものを区別する環境整備

※挨拶や言葉づかいの徹底

(例) 感謝・思いやりの教育
相手意識

保護者との連携

※学級通信での発信

※初期対応・組織対応・アンテナ（多角的な児童理解）

※学校通信、HP 等での発信